

基本情報シート

記入日	平成29年3月15日
記入者	窪野 香織
事業所名	生活支援センターそうだん

氏 名	静岡 まさる			電話番号	0000-12-3456
よみがな	しずおか まさる	性別	男	FAX番号	0000-12-3457
生年月日	平成24年2月10日	年齢	5	Eメール	
住所	〇市中央町10000			その他の連絡手段	

家族構成	氏 名		続柄	年齢	職業等	保護者	氏 名	静岡 太郎
	静岡 太郎	同居	父	44	会社員		続 柄	父
	静岡 一子	同居	母	33	主婦		住 所	同左
	静岡 まさる	同居	本人	5	児童発達支援センター		電 話	0000-12-3456
						成年後見制度		
	(転居後予定)							
	静岡 寅治		祖父	78	4月～同居 要介護4	日常生活自立支援事業		
	静岡 洋子		祖母	74				
						その他		

障害者手帳及び障害の状況					経済的状況	
手帳情報	種別	番号	交付日	総合等級	給与等(月額)	
	身体				年金(月額)	
	療育	6543210	平成27年4月1日	B	特障・児手当	
	精神				特別児童扶養手当	申請中
障害の状況	知的障害・自閉症スペクトラム				児童手当	受給
					児童扶養手当	
					生活保護	
					その他	

自立支援医療	種 別		期 間	～	
	病 院			病 名	

かかりつけ医	Z診療所 児童精神科/山田Dr(1/3ヶ月) 言語療法/島田療法士(2/月)
--------	--

障害程度区分	期 間	～
--------	-----	---

介護保険	
------	--

その他のサービス	
----------	--

サービス受給状況

[illegible]

相談内容

・家庭では言葉を話さず、1人で過ごすことが多く、外出や入浴などのはたらきかけに対し泣いて怒る事が多かった。初めての場所で大泣きをしたり、痙攣を起こしたり、家ではぐるぐると走り回っていることが多い。H市の1歳6か月健診の時、保健師さんから言葉のゆっくりさや多動を指摘され、保健師さんの勧めでH市の発達相談を受けた。発達相談後10月～H市のはったつ学園の親子教室に週1回通い、まだ言葉が出ない事もあってH27年4月からは、はったつ学園へ週5日毎日通っている。

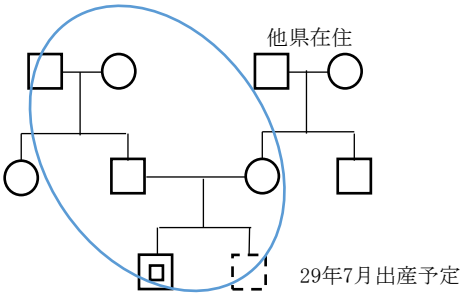
・こどもの成長についてははったつ学園に通うようになっていろいろ相談できるようになり、はったつ学園の勧めでZ診療所へ受診。言葉が出ないことや、たびたび痙攣を起こしてしまう事の相談から、「自閉症スペクトラム・知的障害」の診断を受け2～3か月に1回の受診と、2週に1回の言葉の教室に通うようになる。

・父方実家の祖父が脳梗塞になり、介護が必要になったことや母の第2子出産もあり、平成29年4月からO市父方実家へ引っ越し、同居することとなりO市の紹介で生活支援センターそうだんへ来所。相談内容としては、「父方実家から通えるはったつ学園のようなところで本人の育ちに合った支援を受けられるようにしたい」「言葉もあまり出ないし、こちらの言っていることもあまり理解していないと思うので、言葉が出てほしい」「父方実家の地域状況が分からないので、地域の状況や就学についても考えていきたい」などがあげられた。

生育歴(学校、仕事、病歴等も含む)

所属等	年齢(年代)	特記事項
H市C病院にて出生		
	10ヶ月～	ひとり歩き
H市1・6検診	1・6歳	発達相談へ
はったつ学園(H市)	2歳～	親子教室
はったつ学園(H市)	3歳～	定期通園(児童発達支援)
O市へ引っ越し予定	5歳～	
じはつかん(O市)	5歳～	引っ越しによる転園(予定)
その他		

家族構成

	続柄	特記事項
	父	IT関連会社勤務。転居後は自宅勤務を中心に月2日程度の会社出勤を予定
	母	7月第2子(男児)出産予定
	父方祖父	脳梗塞により介護認定 要介護4

その他の関係者

所属、氏名等	連絡先	役割、関わり
Z診療所 山田Dr・島田言語療法士	123-4567	定期受診・ことばの教室
じはつかん(児童発達支援) ○○児発管	54-4321	発達支援・自立支援

障害児通所支援利用計画1

児童通所支援利用計画

生活支援センターそうだん

利用者氏名(児童氏名)	静岡　まさるさん	障害程度区分	児童	相談支援事業者名	生活支援センターそうだん
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	4 6 0 0 円	計画作成担当者	相談支援専門員：窪野
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
計画作成日	平成29年3月	モニタリング期間(開始年月)	平成29年7月	保護者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	両親）1ヶ月後の4月から0市へ転居予定です。今の時点では、地域の園での生活は考えにくく、まさる本人にあった発達の支援を受けられるようにしたい。言葉の育ちや人との関わりなど色々なことに興味を広げ、集団生活になじめるといいなと願います。				
総合的な援助の方針	児童発達支援センターじはつかんを利用しながらまさる君の育ちに合った発達の支援を提供し、保護者と確認しながら一緒に成長を見守っていきます。				
長期目標	児童発達支援事業所へ楽しく通園し、大人との関係を深めながら、友達と言葉でのやり取りを楽しんだり一人で出来ることが増えています。				
短期目標	毎日児童発達支援事業所へ登園する中で、新しい環境や生活リズムに慣れ安心して生活できるようになります。				

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	引っ越し、通園先の変更で大きな環境の変化がある。集団生活になじめるか心配。	まさる君の特性や発達の状況に応じた支援を提供し、引っ越し後も安心した生活をおくる。	6ヶ月	児童発達支援 23日／月（定期利用） 家庭	児童発達支援事業所・じはつかん 児童発達支援管理責任者： (9999-87-6543) 家庭	毎日元気に通園し、大人との関わりを深めましょう。	5ヶ月	
2	自分でできることを増やしたい。（排せつ・着脱など）	排せつや着脱などの日常生活動作を大人と一緒にを行い、身につけていきましょう。	6ヶ月			まずは、大人と一緒にいろんなことにチャレンジしよう。	5ヶ月	ご家庭でもできることを一緒に見つけていきましょうね。
3	本人に合った環境や子育ての不安を一緒に考えてほしい。	お子さんの成長を伝えあい、一緒に考えていきましょう。	6ヶ月	児童発達支援 障害児相談支援事業所 〇市福祉課	児童発達支援管理責任者： 障害児相談支援専門員：窪野 〇市福祉課： (9999-78-0000)	お母さんは、家族の状況や困りごとがあったら遠慮なく教えてください。	3ヶ月	
4								
5								

児童通所支援利用計画【週間計画表】

生活支援センターそうだん

利用者氏名(児童氏名)	静岡　まさるさん	障害程度区分	児童	相談支援事業者名	生活支援センターそうだん
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	4 6 0 0 円	計画作成担当者	相談支援専門員：窪野
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	0 0 0 0 0 0 0 0		

計画開始年月	平成29年3月	モニタリング期間	平成29年7月	保護者同意署名欄	
--------	---------	----------	---------	----------	--

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								・ 3月中旬に0市の父方実家で同居 ・ 母は7月出産予定 ・ 祖父は脳梗塞で半身不随
8:00	バス送迎	バス送迎	バス送迎	バス送迎	バス送迎			
10:00	児童発達支援 (児童発達支援事業所じはつかん)	児童発達支援 (児童発達支援事業所じはつかん)	児童発達支援 (児童発達支援事業所じはつかん)	児童発達支援 (児童発達支援事業所じはつかん)	児童発達支援 (児童発達支援事業所じはつかん)			
12:00								
14:00								
16:00								
18:00	バス送迎	バス送迎	バス送迎	バス送迎	バス送迎			週単位以外のサービス ・ Z診療所　1/3か月受診 ・ Z診療所　2/月言葉の教室 ・ 療育手帳B取得済み ・ 特別児童扶養手当申請中
20:00								
22:00								
0:00								
2:00								
4:00								

サービス提供によって実現する生活の全体像	
----------------------	--

事例情報2

事例の発達の状態

※H29年4月時点の状況

項 目	状 態	項 目	状 態
食 事	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを順手で持ちご飯はすくって食べる。すくったご飯を汁ものに浸して食べることがある。 ・家庭ではパンしか食べない。 ・偏食があり、自分で食べないと決めると全く食べないことがある。 	排 泄	<ul style="list-style-type: none"> ・排尿…紙オムツにしてしまい、濡れると脱いで新しいオムツを持ってくる。定時でトイレに誘うが、抵抗が強く我慢をしてしまう。 ・排便…紙オムツの中にしてしまうが、便の場合は脱がずにそのままいる。お尻を拭く際は、協力してくれる。
着 脱	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えそのものを嫌がるが多い。 ・気分が良ければ大人の促しで、ズボンに足を入れたり、上着の袖に手を入れたりする協力動作はできるようになった。 	睡眠リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・昼寝をするが、生活リズムが乱れやすく、夜中に起きだしたり起床が遅くなる。父と19:30頃就寝するが、夜中2時頃起きだして、一人でビデオを見ていることがある。
情緒・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなおもちゃ(電車、車を並べる)、おままごとなどはするが、人と関わって遊ぶというよりも、自分の世界の中で遊ぶことが多い。 ・好きな遊びをしている時に他の活動に誘おうとすると、大泣きになってしまう。 	認 知	<ul style="list-style-type: none"> ・1ピースの型はめはできる。4ピースは少し介助するとできる。 ・直径1.5cmのウッドビーズ通しは12個一人で紐を通すことができた。
粗大運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランコ・滑り台などの固定遊具を好んで遊ぶ。プールは大好きで顔に水がかかっても平気でダイナミックに遊ぶ。 ・走ったり、飛び降りたり、高いところへ登ったりすることは好き。 ・よく動くが走る姿は不安定でバランスが悪い。 	微細運動	<ul style="list-style-type: none"> ・型はめ:同じ形の所へピースを置くが、はめ込むことはせず、形と形を合わせているのみ。 ・箱の穴の中にボールを落し入れたり、再び取り出して入れることができる。 ・ビー玉落とし:親指と人差し指で上手につまみ穴に落とすことができる。
言語理解	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中で使う言葉は理解できてきている。「お片付け」と言いながら片付け 籠を渡すと玩具をかごに入れる。 ・実物を見ながら指示をするとわかりやすい。 ・周りがざわついていると耳ふさぎをすることがある。 	言語表出	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいことがあると「アハハ」と笑ったり、いやなことがあると「痛い」と言うことがある。 ・絵本のワンフレーズを口ずさんだり、ビデオのセリフを独り言でいうことがある。 ・奇声が多く嫌な時は「うぎゃー」と拒否することが多い。
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・くすぐり遊びや揺さぶり遊びが好き。好きなことをやってくれる人のところには甘える様子がある。 ・要求はクレームが多い。 ・大人には要求することがあるが、友達には関わる姿は見られない。 	集団参加	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなおもちゃ(車)などを手放せず、集団活動の時も持ったまま参加することがある。 ・自由遊びから活動に移ることが苦手で、泣きながら次の活動に入っていくことが多い。泣いて活動中に眠ってしまうこともある。 ・活動中、イスから出てしまうことがたびたびある。靴を履いて一人で外(園庭)に出ようとすることもある。
描画・造形	<ul style="list-style-type: none"> ・クレヨンなどを持つと、紙の上になぐり書きをする。書くことは楽しんでおこなう。 ・のりはまだ自分から塗ろうとはせず、介助者のやるのを見たり、一緒に手を添えられながら塗る。 ・スライムなどは、感触が楽しいようで、どんどん手につかんでつまんだり、引っ張ったりして楽しむ。 	音楽リズム	<ul style="list-style-type: none"> ・興味があれば自分から楽器を持ってたたくことがある。 ・好きな歌は鼻歌のように口ずさんでいることがある。
興味関心	<ul style="list-style-type: none"> ・トーマス、工事車両のミニカーなどが好きで、常に手に持っていることが多かった。次の活動に移る時に、お片づけをお願いすると、床に寝転がって泣いてしまう姿も多く見られる。 ・転がるおもちゃやままごとなど用途に応じた遊びができる。集中は短い、新しいおもちゃへの興味関心は大きい。 ・ぬいぐるみやフィギアも好き。 		

〈心理評価〉

新版K式 発達検査 H28.10.26(4:9)

領域別	発達年齢	発達指数
姿勢・運動	3:1	65
認知・適応	2:7	55
言語・社会	1:5	31
全領域	2:2	46

【検査時の様子と所見】

○検査上では認知面が2歳代に入っているが、言語・対人面で動作模倣が見られないなどアンバランスさが見られ、特徴がある中で1歳前半～半ばの課題が残っている。

○繰り返しのことは経験で積み上げていく部分はあるが、一方で慣れない事、相手のタイミングでやり取りに応じる、指示に気付くことの苦手さが顕著。他者を受け入れる幅が狭く、自分ペースになりやすい。

○言葉での表現や理解の苦手さについては、相手を求める、伝える気持ち等言葉以外の生活の中でのコミュニケーション全体も丁寧に見ていきたい。大人が本人の好きなことに寄り添って本人が分かる表現(カードや繰り返しのことば等)でわかることを増やしていきたい。

その他 補足

・父との相談で、母は出産を控えていることもあるが、メンタル面でサポートが必要。児の育てにくさを感じており、言うことを聞かないと手が出てしまうことやヒステリックになることがあるとのこと。母自身が精神科を受診し服薬もしている。